

第 22 回神奈川県安全性向上委員会 議事要旨

1. 日 時：令和 6 年 3 月 2 5 日（月） 14:00~16:00
2. 場 所：横浜国道事務所 4 F 共用会議室（一部 WEB 会議）
3. 要 旨：

- 事故ゼロプラン 3 期の年次更新区間（追加）について了承された。
- 今年度の完了判定区間について了承された。
- 生活道路における交通事故対策について報告した。
- 関係機関の取り組みについて報告した。
- その他として、トラック協会が対策要望箇所について報告した。

4. 議 事：

（1）神奈川県の交通事故発生状況

- ・事務局より、神奈川県の交通事故発生状況についての説明があった。
- ・意見なし

（2）事故ゼロプランの概要

- ・事務局より、事故ゼロプランの 3 期の取り組みについての説明があった。
- ・意見なし

（3）事故ゼロプラン 3 期の取り組み

- ・事務局より、事故ゼロプラン 3 期の選定区間についての説明があった。
- ・本年度の追加区間、完了判定区間が承認された。

【意見】 国道 246 号 江田駅の対策である滑り止め舗装は効果があったという認識で問題ないか。
（横浜国道事務所長）

【回答】 当該区間は追突事故が多数を占めており、減速ドットおよび追突注意路面表示によって追突事故が抑止されたことにより、事故件数が減っている。そのため、事故対策の目的が達成されたと認識している。（事務局）

【意見】 意見となるが、カラー舗装や減速ドットなどの効果を数値として、しっかりと示していく必要があると考える。（相武国道事務所長）

（4）生活道路における交通事故対策

- ・事務局と横浜市より、生活道路における交通事故対策についての説明があった。

【意見】 横浜市のスムーズ横断歩道の取り組みについて、ハンブの騒音による苦情の声などは寄せられたのか。（横浜国道事務所長）

【回答】 対策実施 1 年後に住民代表に確認した際には、騒音の話は寄せられなかった。（横浜市）

(5) 関係機関の取り組み

・首都高より、大黒 PA 付近での歩行者立入対策についての説明があった。

【意見】立ち入り対策の取り組みとして行っている広報活動は、タクシー協会と協同で行っているという理解でよいか。（横浜国道事務所長）

【回答】その通りである。（タクシー協会）

(6) その他の取り組み

・横浜国道より、VR、AI 技術による取り組みについての説明があった。

【意見】AI 技術を活用して交通挙動を計測する場合には、事前学習を含め、準備するためにどれくらい時間が必要か。（相武国道事務所長）

【回答】物体（自動車、歩行者、自転車等）を学習済みの汎用ソフトがあり、普通車・大型車などを自動的にカウントするものは無料で手に入れることができるが、詳細な計測内容や計測方法などは検討箇所ごとに設定する必要がある。（事務局）

(7) 今後の予定

・事務局より、今後の取り組みについての説明があった。

・意見なし

トラック協会からの対策要望箇所

・トラック協会より、対策要望箇所についての説明があった。

・事務局より、要望については関係機関に照会の上、回答することとした。

以上